

国交振会報

Kanramachi International
Friendship Association

発行 公益財団法人甘楽町国際交流振興協会

発行日 2016年9月7日

事務局 甘楽町役場企画課

TEL 0274-74-3131

No.89



第16次チェルタルド市訪問 甘楽町中学生国際交流研修団

2016.8.16～8.26

～心の友～

AMICI DEL CUORE



8/22 チェルタルド・アルトにて行われた「中世の遊び」



8/17 歓迎式・受入家庭と対面



8/18 折り紙アート交流



8/21 受入家庭にて

第16次チェルタルド市訪問中学生国際交流研修団20名(佐俣勝彦団長、随員2名、通訳、中学生16名)は、8月16日(火)～26日(金)、イタリアを訪問しました。17日にミラノを見学後、チェルタルド市へ向かい、6泊7日のホームステイを行いました。



8/22 お別れ夕食会にて



8/23 出発の朝



8/23 ホストファミリーとの別れ

受入家庭では、どの家庭も深い愛情を注いでくれ、楽しく過ごしていました。滞在中は、ホストファミリーや甘楽町に来町した第9次青年使節団員と一緒にフィレンツェやアックア・ヴィレージ(ウォーターパーク)へ出かけたり、チェルタルド・アルトにて行われた「折り紙アート交流」や「中世の遊び」に参加して交流を深めました。お別れ夕食会では、笑顔が絶えない時間を過ごし、最後に歌「上を向いて歩こう」と踊り「ソーラン節」を披露すると、会場は大きな拍手に包まれ、アンコールの声が鳴りやみませんでした。23日の朝、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝え、「また会おう」と約束し、チェルタルドを立ちました。その後、ローマへ向かい、偉大な芸術家の絵画や彫刻、壮大な建造物などを見学しました。ローマ滞在中の24日にイタリア中部のペルージャ県に地震が発生しましたが、研修団に大きな影響はなく、26日全員無事に帰国することができました。第16回目の派遣を終え、チェルタルド市を訪問した甘楽町の中学生は計280人となりました。この夏の新たな出会いは、心の友となり、2つの市町の友好の輪をさらに広げてくれました。今回の研修で、異国の歴史や文化に肌で触れ、イタリアの生活習慣を学び、心と心が触れ合う友情を育んだことは、中学生にとって素晴らしい経験であり、大きな宝となったことでしょう。

8/2~7
甘楽町

AMICI DI CERTALDO BENVENUTI A KANRAMACHI
歓迎 チェルタルド市使節団

長岡今朝吉名誉町民之像

第9次チェルタルド市青年使節団来町

イタリアチェルタルド市から第9次となる青年使節団16名(団長(クララ・コンフォルティ評議員)、随員2名、団員13名)が、8月2日(火)に来町し、8月7日(日)まで滞りました。団員は、第16次中学生研修団員の6家庭に5泊6日のホームステイをして、文化や生活習慣の違いを学びました。

滞在中は、かんら保育園・甘楽中学校等の施設見学や道の駅甘楽で開催された「食」のフェスタで、第16次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団と一緒にゲームやクイズに参加したり、お休み処信州屋で折り紙や和菓子作りの体験をして交流を図りました。

お別れ夕食会では、甘楽町での最後の夜を受入家庭や中学生研修団員とバーベキューをして楽しみました。夕食会の最後には、使節団員がダンスを披露してくれ、甘楽町の団員も一緒に踊って盛り上がりました。新たな友情が芽生えた甘楽町・チェルタルドの団員たちは、10日後チェルタルド市で再会し、さらに交流を深めました。



浴衣を着ました



受入家庭で餃子作り



お揃いのTシャツを着て



ぶるんこんにゃくキャッチャー



ゲームとクイズで優勝したチーム



お別れ夕食会にて



別れの朝

イタリア中部地震への義援金を受付しています

イタリア中部地震被災地の皆様によりお見舞い申し上げます。

8月24日午前3時36分、イタリア中部のペルージャ県ノルチャ付近を震源として、イタリア中部地震(マグニチュード6.2)が発生しました。この地震により、多くの犠牲者が出ており、復興には多くの時間と支援が必要となります。

東日本大震災の際には、姉妹都市チェルタルド市から多くの義援金が届き、岩手県の小学校に贈りました。

現在甘楽町では、イタリアに向け支援を行うため、義援金箱を「役場ロビー」と「道の駅甘楽」に設置し、義援金を受付しています。集めさせていただいた義援金は、チェルタルド市を通じて被災地へお届けします。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

